
「肝細胞癌術後再発に影響を与える因子の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年01月01日から2022年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター、肝胆膵外科（以下；当科）において肝細胞癌に対して肝切除術をお受けになられた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

日本における原発性肝癌の9割以上は肝細胞癌であり、従来は、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスの感染による慢性肝炎・肝硬変を背景に発症する症例がほとんどでした。しかし最近、高齢化と食生活の変化に伴い脂肪肝障害を背景に発症する肝細胞癌症例が増加しています。肝細胞癌治療では手術が確実な根治治療ですが、再発率が高いのが特徴です。手術後の肝細胞癌再発の早期発見が予後改善には重要ですが、再発までの期間に影響する患者因子や手術因子などについては一定の見解が無いのが現状です。本研究では、肝細胞癌手術後の肝細胞癌再発までの期間、危険因子を明らかにすることにより、術後の経過観察の効率化と再発のリスクを低下につなげることが本研究の目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2029年03月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

当科における病院診療録の記載内容を用いて研究を行います。そのなかには、患者さんの身体的背景、病気の情報、検査所見、画像所見、手術記録、術後経過の詳細が含まれます。

この研究で得られた患者さんの情報は、当科において、研究責任者である牧章が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

肝細胞癌に対して肝切除術をお受けになられた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科

研究責任者 牧章

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科 牧章（担当者）

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

担当 肝胆膵外科・小児外科 牧章

TEL：049-228-3620（代表）（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：肝細胞癌術後再発に影響を与える因子の検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科

牧章